

## 提案

日付：2025/11/19

件名：寒川高校廃校後の跡地に病院を！

### 1. 問題、課題

寒川町には、出産や入院、また子供を安心して受診のできる施設がありません。産婦人科、小児科を受診できずに、困っています。

### 2. 改善案

寒川高校跡地に、産婦人科、小児科などが入った医療施設の誘致や町営病院の建築を希望します。今後、安心して出産、育児を行うには、まずは医療施設の確保だと思います。

立地的にも、寒川町は東海大学病院へドクターヘリが離着陸出来る町でもあります。ぜひ、未来を見据えて、ご検討をお願いしたいと思います。

### 3. 改善後の効果

町内だけでなく、近隣からも受診や入院される方が増えていき、いずれは町内に移住される方々が増え、若い世代が住んでいくことでしょう。

町内に他から移り住む方々が増えれば、自ずと子供達の学力も上げていく事になると思います。現状でも、小学校の教科書は他の自治体と同等とは思えない部分もありますが、徐々にレベルを上げていく事になると考えます。

安心して出産ができ、安心して育児や教育ができれば、若者世代には魅力のある町になると思います。若い世代の方々が、よりよく暮らせる町になることを願っています。

---

## 回答

<寒川高校廃校後の跡地に病院を！>

【所管：健康づくり課】

町内での医療機関設置につき、貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。

ご要望いただきました神奈川県立寒川高等学校の跡地の活用についてですが、こちらの校舎及び土地につきましては、町ではなく、神奈川県所有となっております。そのため、統合後の校舎及び土地の活用方法については、神奈川県において検討し、地元市町村である寒川町へ意見照会が行われることになるかと思われます。今後、意見照会等があった際には、今回のご意見も踏まえ検討させていただければと思います。

町内への産婦人科、小児科などの誘致につきましては、全国的な産科医の不足、出生数

の低下傾向という状況も踏まえますと、現時点においては難しいと考えておりますが、これからも、状況の変化を注視しつつ、産婦人科、小児科などの新設につながるような要望等を行ってまいりたいと考えております。

町営病院の設置につきましては、人口 5 万人前後の市町村が設置する公立病院の年間支出額はおおむね数億円から数十億円となっており、人口の減少に伴う町税収入の減少、高齢化率の上昇に伴う社会保障費の増加などが想定され、学校等の公共施設や下水道施設をはじめとするインフラ施設の老朽化対策が喫緊の課題とされているなかでの町立病院の運営は難しいところです。

医療機関の偏在、診療科の偏りにより、ご不便やご心配をおかけしております。今後の高齢化が進む中では、限られた医療資源の有効活用が課題となり、国・県・地方自治体では、医療・介護資源の効率化による地域完結型の医療提供体制の構築を目的とした、新たな地域医療構想についての検討が進められております。

限られた医療資源を有効活用し、持続可能な医療提供体制を構築することで、町民のみなさまが安心して生活できる環境を整備できるよう努めてまいります。